

## 課題管理実施報告書

報告日：2010年 3月 1 日

プログラム	アジア科学技術の戦略的推進:アジア科学技術コミュニティ形成戦略
課題名	プラズマ応用と複合機能材料に関する第3回国際ワークショップ
実施日	2010年 2月 26 日(金) ～ 2月 28 日(日)
場所	釜山市、センタムホテル (韓国)
形式	一般公開・シンポジウム・セミナー・講演会・ <u>ワークショップ</u> その他 ( )
	展示物 <u>有</u> 機器・設備 <u>パネル</u> ビデオ上映 体験型 <u>その他</u> (パンフレット)
対象者	<u>一般</u> 学生 (中学・高校・大学) その他 ( )
来場者	人数： 70 名、(内訳 日本研究者32名、海外研究者8カ国18名、学生20名 )
周知方法	新聞 雑誌 <u>学会誌</u> メディア取材 プレスリリース HP、 <u>メール</u> 発信 その他 ( )
実施者	○実施取り纏め者を記載 小林 明・准教授 大阪大学・接合科学研究所
内容	○実施内容を具体的に記載 プラズマエネルギー応用、高速プラズマジェットなど先進プラズマを用いた材料開発に関する最新の成果について研究発表、講演及び討議した。具体的には、アジア地区で活躍するプラズマ応用科学に関する研究者を招聘して、プラズマによる材料開発に関する最新の研究成果についての基調講演、研究発表 (講演・ポスターセッション) を行い、共同研究に向けて討議するとともに、若手研究者にも国際的ネットワークに基づく研究活動を体験させた。
効果、問題点、今後の展望と課題	○実施した効果を具体的に記載 本国際ワークショップでは「プラズマ応用科学技術と先進材料・複合機能材料」に関する最先端の研究成果が発表された。また、プラズマ応用に関する分野の最先端で活躍する日本、アジア諸国の研究者が多数参加したので、海外の出席者にも本研究分野の研究 (日本、韓国を中心とするアジア地区) の現状、研究動向を把握してもらうことができた。 特にアジアにおける本分野の最先端の研究成果の発表・情報交換と、日本における研究活動の国際的位置付けができ有意義な国際ワークショップとなった。また、会議中、日本、韓国の研究者を始め、アジア諸国からの研究者を含めた参加者同士の親睦を深めることができ、同時に参加若手研究者に対しては、今後の研究の指針を与えることができた。 本国際ワークショップにおいて「プラズマ応用科学技術と先進材料・複合機能材料」に関する研究成果、課題について多方面でより高度な討議ができたので、特にアジアにおける本分野のプラズマ応用科学の学術的発展に寄与するものと思われる。

○ 実施上の問題点を具体的に記載

本国際ワークショップは韓国釜山での開催であったが、開催時期の2-3月が悪天候の季節のため、開催前日、当日の飛行機に遅着があり、日本からの参加者多数の到着が遅れ、現地での開催準備に支障があった。

○ 今後のコミュニティ形成に向けての展望と課題を具体的に記載

本国際ワークショップを契機に、先進プラズマ応用に関する研究交流を進めることにより、より一層の研究の進展があるものと予想される。具体的には、アジア地区における相互の研究者による先進プラズマを用いた表面改質、材料開発に関する研究が今後の国際共同研究となることが期待できる。

また、今後のプラズマによる材料開発など国際共同研究の企画をより活発にし、アジア諸国相互の研究者の文化的・友好的国際交流をさらに進展させる必要がある。